



社会科授業実践「ハンバーガーショップの経営者になってみよう」。出店する場所を地図から選び、その理由や店にどんな特徴を持たせるかなど、生徒は自分なりの考えを発表し、学び合いを深めました。
(旭川市立常盤中学校)

No. 109 (平成23年11月1日)

お も な 内 容

	ページ
随 想	1
研修講座寸描	2
出前講座寸描	6
教育講演会概要	7
今、研究室では	8
第14次研修事業について	9
心に残る授業 その四	10
お知らせ・ご案内	10

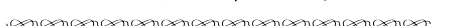


大切にしなければならぬもの

上川教育研修センター
副所長 山下 尚 年

あの東日本の未曾有の大震災から、七ヶ月が経ちました。ボランティアを含め多くの人たちが、復興に向け毎日必死の思いで努力を続けています。しかし、地震・津波の被害、原発の事故など深い爪痕がまだ残り、もとの姿に戻るにはさらに多くの時間が必要です。被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早く未来に向かって希望の光が見えますよう心から願うものです。生命保険会社が、日本の未来を強くするために必要なものを表す漢字を募集したアンケートによると、「愛」「信」「金」「忍」などがあげられ、中でも一番多かったものは「絆」だったそうです。大惨事に機に、人とのつながりの大切さが見直されたのではないかと述べられていました。もとも日本の社会は、稲作文化を中心に発達し、田植えや稲刈りの共同作業、村中総出の仕事の中から、社会性を培ってきました。みんなで協力し合って事を成し遂げたときの喜び、心を込め丁寧に一生懸命仕上げたときの清々しさなどを通して人をおもんばかる気持ち、協調性や勤勉性などの日本人の気質がつくられ、絆をもとに組織が育まれてきたといわれています。

しかし、現在はどうでしょうか。自己中心的(利己的)な考えをする人が少なくなく、人間関係も希薄になってきました。個性を尊重する考えのもとに私たちは、「自分を大切にしない」と子どもたちに言ってきましたが、利己的な生き方をしなさいと指導はしなかったはずで、自分を大切にすること、他とのかわりの中から自分のあるべき姿を見つけていくことです。大震災を通して、私たちは「絆」の大切さを強く感じました。まさに、ボランティア活動を熱心に取り組んでいる若者の姿です。他とのかかわりの中に自分のあるべき姿を求め、被災した人たちのために自分は何ができるのかと真剣に考え取り組んでいる様子は、多くの人々に心強さと生きる勇気を与えました。「共生」の社会を生きて子どもたちに必要なのは、自分を大切にすると同様に他を大切にすること、利他的な生き方です。



センター日誌

- 7月12日 夏季拡大研究室会議
 - 7月27・28日 道研連夏季所員研
 - 7月26日 8月5日 研究室夏季集中研
 - 8月1日 教育委員会会議
 - 8月12日 センター組合議会運営委員会
 - 9月8日 センター組合議会本会議
 - 9月8日・9日 道研連網走大会
 - 11月1日 センターだより第109号発行
- ※毎週火曜日 定例研究室会議



毎年恒例の「マラソン記録会」(九月八日)。春から週に二回、体力づくりの一環として全校でグラウンドを走ってきました。当日は天候にも恵まれ、自己新記録がたくさん出ました。
(上富良野町立上富良野西小学校)

7 総合的な学習の時間 6/9



調べたことをもとに自分たちでできること考え交流しよう



他者と協同して取り組む学習活動に



(旭川市立青雲小学校 川股佐友里)

講義や提言では、総合的な学習の時間における実践上の課題が見え、探究的な学習とするためには、4つの学習過程が何度も繰り返し、スパイラルに高まっていくことの必要性や課題設定のポイントを教えてくださいました。

研修講座寸描

15 学校経営Ⅲ 7/26

新しい時代に対応した学校経営は、学校づくりのビジョンと戦略を設定し、経営資源を機能させることの大切さを学ぶことができました。また、提言者の取組も示唆にあふれ、教頭の役割を再確認できました。ご指導感謝いたします。

(旭川市立神楽小学校
教頭 佐藤 浩徳)



小学校・中学校の研究授業では、個別の支援計画により児童・生徒理解をしっかりと行い、その上で個別の指導計画を作成され、さらに、その実践としての授業が行われていました。一人一人を本当に大切に特別支援の実践についてご指導いただき、大変ありがとうございました。

(愛別町立愛別中学校 田中 紀彦)

3 特別支援教育② 6/15



豊かな人間形成を図る読書活動をすすめるために



すきな本を見つけよう

9 読書活動 6/22

図書支援員の方と連携した読書活動の授業を参観させていただきました。学年を問わず、読み聞かせをすることの大切さを再認識したのはもちろん、日常の学習活動で読書をどう関連づければよいのか考え直すよい機会となりました。

(旭川市立愛宕小学校
鈴木真由美)

10 複式教育 6/28



主体的な活動を促す体験的な学習とは

複式教育の特性を生かした体験的な活動やICT機器を活用して変化に富んだ高学年の授業など、大変勉強になりました。今後は、学んだことを実践してみたいと思います。ありがとうございました。

(旭川市立聖和小学校 山田千代美)



ICT環境を生かした学習

(3)

グループで
「What do you want? I want ~」



外国語活動について、講座や研究授業、演習を通して学ぶことができ、たいへん有意義な研修でした。特に、英語という言語を使って「コミュニケーションをする態度の育成」を目指すことが大切だと感じました。

(旭川市立千代田小学校 森 優也)

11 小学校外国語活動 7/6



相手に欲しいものを尋ねるときは

12 生活科指導 7/7

生活科の授業に対しての不安や疑問を解消することができました。子どもたちの少ない言葉からの気づきの見とりや朱入れの大切さを学ぶことができました。これからの授業に生かしていきたいと思えます。ありがとうございます。

(当麻町立当麻小学校 西山あずさ)



考えたクイズを元気に発表



机間指導で子供の思考をとらえる



グループで多様なアクティビティに挑戦



異なるものを受容し理解することを目指すために

21 国際理解教育 8/3

国際理解教育における教師の役割や各教科に国際理解教育の視点を加味した教育課程や授業実践等、わかりやすくご指導いただきありがとうございます。多様なアクティビティも紹介していただき国際理解教育の奥深さを実感しました。

(旭川市立新町小学校 加藤 佳代)

18 外国語科(英語)指導 7/29・9/8

疑問詞 what を用いて対話する学習



(旭川市立北門中学校 造田 聖明)

伊東先生の授業で行われた言語活動を拝見して、子どもたちの発話量や意欲がすばらしと感じました。小学校の授業は、聞く・話す活動が子どもたちを中心として行われ、楽しく学んでいる様子でした。今後につながる研修だったと感じます。



ペアでの自由会話に取り組む

研修講座のながれ ～国社算理を例に～

PLAN

国語科

7月25日

講義



伝え合う力を高める指導の工夫・改善



提言



新学習指導要領における「話すこと・聞くこと」

研究協議 (指導案検討)



社会科

7月26日



社会事象の意味を考え、表現する力を育てる指導の工夫



社会的な見方や考え方を育てる社会科指導



算数・数学科

7月27日



中学校数学科における授業タイプ選択型の要因に関する調査研究



学ぶことの楽しさを実感できる算数・数学科指導



理科

7月28日



理科教育における今日的な課題



科学的な思考力・表現力を育成する理科指導



DO

9月2日

小学校 研究授業



朝日小学校 1年

8月31日



近文第1小学校 1年

9月7日



旭川第3小学校 4年

9月7日



愛宕小学校 6年

中学校 研究授業



春光台中学校 2年



北星中学校 2年



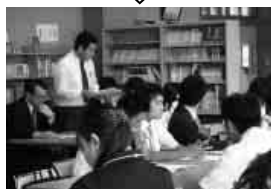
旭川中学校 3年



東陽中学校 1年

CHECK

研究協議



国語科の「話すこと・聞くこと」の授業を参観して感じたことは、小学校1年生から系統を重視し、実態に合った目標が達成できるよう指導していくことの重要性です。私自身の実践の中で確実に実行していきます。ありがとうございました。
(旭川市立西御料地小学校 佐藤 大士)

本講座では、新学習指導要領に示された評価の観点について、特に「思考・判断・表現」に関わる内容を中心に講習が行われました。言語活動を重視した授業例や評価等、実践的な内容が充実した講座で今後の授業研究の参考になりました。
(旭川市立新富小学校 北川 恒)

久保先生の講義の「理論と実践」、「理想と実際」は、自分のこれまでの授業を見直すのに大変参考になりました。また、レポート交流や研究授業等、各先生方の実践から多くを学びました。今後の算数の授業に生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。
(鷹栖町立北野小学校 千田 友美)

講義では、新指導要領の中での、科学的な思考や表現力等、大変参考になりました。また、授業参観では、実感をもった理解や目的意識をもつ等、これから授業に取り入れる要素を見せていただき勉強になりました。ありがとうございました。
(愛別町立愛別中学校 鴻上 貴)

ACT

改善

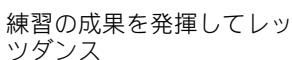
各学校で理論をもとにして実践検証

実践力を高める理論学習

理論をもとにした授業実践

体育科教育の今日的課題について、理解を深めると共に、様々な運動の実践について交流することができました。また、実技では楽しんで行えるリズムダンスを体験することができました。日常の体力づくりに生かしていきたいと思っています。

(上富良野町立上富良野西小学校)



佐野西小学校
佐野智美

実技研修講座

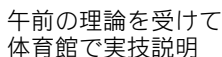
現在、研修センターが開設している講座に実技を伴うものは5種類あります。そのどれもが、単に実技や指導法の伝達にとどまることなく、講座日程の中に必ず理論学習が位置付けられています。受講された方々は、理論に裏付けされた実技であることを理解し、実際の指導に役立てています。

デザインのおもしろさに研修ということを忘れるほど感心してしまいました。実習では自分自身を表現することの楽しさを体感でき、子どもたちに早く還元したいと感じました。また、評価の方法なども教えていただき 勉強になりました。

金田阿佐美

「講座を担当して」

一昨年度から「現代的リズムのダンス」の授業に取り組んでいましたので、その内容をそのままに、加えて四三拍のChooChooTrainの振り付けを紹介しました。受講された大半の方が小学校の先生とすることで、要望に沿うことができたかたが、疑問が残ってしまう講座となりましたが、暑い中、二時間も動き続けていただけに感謝しております。私自身も指導内容をさらに精選するよい機会となりました。(旭川市立北星中学校 堀口 創平)



授業の進め方や合唱の指導法についてよく学ぶことができました。また、実技研修では、指揮法や発声の仕方を実際にやり、授業ですぐに使えるポイントもわかり、とても有意義な時間となりました。ありがとうございました。

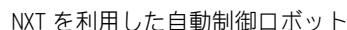
(旭川市立千代田小学校)



木下由依子

の導入方法やエネルギー伝達の基礎的な知識及び技能の確認など、今後の授業づくりに役立つ内容でした。自らの実践をもう一度見直すよい機会となりました。ありがとうございました。

（附属旭川中学校 加藤 慎司）

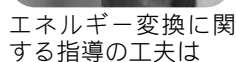


押切 秀勝

入門期である三年生の研究授業では、解決の見通しを大切に扱うこと、また、実技指導では、楷書行書の書き方、穂先の向きなどなどに気をつけて書くことを学ぶことができました。来年も参加するのでお願いします。

（名寄市立豊西小学校）

講座を担当して「



ボットコンテストなどの活動で何度も基礎的なお話もさせていただきました。卒業生でしたので、手を動かす時間を長くとることにしました。後半は、アフレコ社から組み上がってきたロボットを借り用して（製作の時間を省略するためです）、障害物回避やライントレースに実際に取り組んでもらいました。普段、お忙しい時間無いところで取り組んでいらっしゃる先生に実物で体験の場を提供できるような心がけています。

北海道教育大学旭川校 教授



関変換に工夫は
ギークの達人は
ネル指導する
に作成しても
らいました。
今回の出席者
の多くは、ロ

では講座の前
用いてレゴを
達や運動交換
の機構を実際
に作成しても
らいました。

国語科「詩の授業」の指導法を学びたい

上教研中央地区国語班 6/21

本講座では、詩の授業を組立てるための視点や学習活動に様々な詩を使って具体的に示したかったので、明日の授業づくりのヒントをたくさんいただきました。ご指導ありがとうございました。（当麻町立当麻小学校 善方 幸）



各学校の「まなびたい」に応じる

出前講座

今年度も多くの学校から希望があり、管内各地で出前講座を開催しています。校内研修として講座を活用するケースが多く、児童生徒の下校後（放課後）の1,2時間を使って研修を深めています。理論などの講義、実技演習など希望内容は様々ですが、どの講座も好評をいただいております。

障がいに応じた配慮や工夫について具体的な支援を学びたい

上富良野西小学校 7/14

七月十四日（木）、旭川市立西御料地小学校より佐藤美鶴先生を講師にお迎えし、障がいに応じた配慮や工夫・具体的支援についてと題し、研修講座を実施しました。貴重な実践に基づく内容で、今後に役立つ、有意義な研修となりました。（上富良野町立上富良野西小学校 村田 隆）

**小学校外国語活動の様々なアクティビティを学びたい**

東光小学校 7/19

英語の発音に自信がない私でしたが、楽しい活動が盛りだくさんで、臆することがなく講座に参加することができました。また、明日からすぐに実践できる指導法を教えてください。とても有意義な時間でした。（旭川市立東光小学校 小林 弘典）



Card Game に挑戦

小学校外国語活動について理論や指導法を学びたい

近文第1小学校 8/17

外国語活動が苦手な子が、自分もできたと感じられる授業や単元の流れを示していただき、紹介していただいたたくさんさんのアクティビティを明日からの活動に早速生かしたいと思いました。ありがとうございました。（旭川市立近文第一小学校 廣田みちよ）



英語ノートより「道案内をしよう」の実践

英語の正しい発音について学びたい

北光小学校 8/18

アルファベットが発音の基礎だと、改めて実感しました。舌をどのように動かしたらいいのかを具体的に教えていただいたので、授業でも意識して発音していきたいと思えます。ご指導ありがとうございました。（旭川市立北光小学校 小林 早苗）



アルファベットの発音について

LD, ADHD, 高機能自閉症などの実態把握や支援について学びたい

東川第二小学校 9/2

苦手意識の強い子への具体的な支援のヒントを学びました。特に、ADHDの児童に対して「ほめる」「環境を整える」ことの大切さを改めて感じました。本校からの質問に即した、具体的に明日につながる実りのある指導をいただきました。感謝いたします。（東川町立東川第二小学校 岩崎 裕介）



苦手がある子の理解と対応について

支援を要する生徒への具体的なかかわり方を学びたい

美深中学校 9/5

発達障がいを持つ人の中には、言葉や絵に置き換えて考える人がいると聞き、日々の困難さを知りました。彼らが私達に合わせることは難しく、私達から彼らを理解し、彼らの世界に歩み寄ることが大切だと実感しました。（美深町立美深中学校 山口 恵子）



通常の学級（中学校）における発達障がいの子どもの理解と対応のために

平成二十三年年度 上川教育研修センター 教育講演会

「モンスターペアレント論を超えて」 保護者と向き合う気持ちと教職員の共同性

大阪大学大学院 人間科学研究科
教授 小野田 正利 氏

平成23年9月6日
上川教育研修センター

一 振り上げたこぶしの意味

もともと、学校の先生は理屈を通してという傾向がある反面、保護者は思いを優先している傾向があり、ずれが生じやすいのです。

このことを自覚しておくだけで、ずいぶん対応の仕方が変わってくるはずです。話は七十パーセントで聞く、決して百パーセントで受け止めてはいけません。ですから、振り上げたこぶしそのものに意味があるのではなく、その源に何があるのかを考えることで、解決の糸口が見えてくるのではないのでしょうか。

二 「傾聴・共感・受容」

全国各地の教育委員会で作られている保護者対応マニュアルでは、「傾聴・共感・受容」がベースとなっています。しかし、最近では、もう一歩進んだ事例に踏み込む場合も起こり、マニュアル作りも第2段階にきております。保護者とのトラブルから「モンスターペアレント」という言葉が使われておりますが、保護者に対して失礼ですし、退治や対決の意味も汲み取れることがか

三 要望なのか、苦情なのか

ら、ここからは決して平和的な解決は見出せません。

モンスター呼ばわりする前に、保護者のものすごいエネルギーの源を知ることが大切です。その際、行為や行動から要望なのか、苦情なのかを判断し、適切に対処するのです。これを怠ることで、保護者への対応に食い違いが生じ、問題の長期化と複雑化を招いてしまいます。

四 分散して受け止めるシステム

保護者のエネルギーをたった一人の担任が受け止めることは、悪循環の引き金に他なりません。エネルギーを分散して受け止めるシステムをあらかじめ作っておく必要があります。そのために、普段から教職員同士の情報交換を強め、チームで対応できる作戦を練っておくことが必要です。また、エネルギーを弱める、薄める方法があります。それは、「子供をほめる。」をなんべんも繰り返すことです。

五 保護者との共同性

振り上げたこぶしの源を探る上でも、保護者との共同性、つまり、日常からのかわりが必要になってきます。日頃から接することで、家庭環境の状況が見えたり、保護者自身の幼少経験などがわかったりするものです。そうすることから、問題解決の出口が見つかるのです。問題は、単体ではなく、複数の絡み合って起きることが多いことから、保護者との共同性は大切です。

六 保護者と向き合うために

今までかわった事例のほとんどは、初期の対応で早期解決の可能性が見いだせるものばかりでした。逆に、初動を怠ると、とんでもなく大きく長いもめ事に発展します。そのためにも、学校全体で取り組むシステムが必要です。

学校に訪れる保護者と向き合うための基本は次の5点です。

- ・まず、お茶を出す。
- ・複数の教員で対応する。
- ・座る位置を相談しておく。
- ・タイミングよく、教員が入れ替わる。
- ・または、部屋を変える。
- ・一時間程度で次の約束をし、冷却期間をもつ。

七 教職員の同僚性

担任を決して一人にさせてはいけません。そのために、日頃から汗と笑いに満ちた職員室であってほしいので

す。職員室には、休憩時間に歓談できるスペースが必要です。ここで先生方が悩みや愚痴をこぼすのです。ここから同僚性が生まれるのです。親は、子供が安心して学校に通っている子供を見て、学校や先生を信頼しています。上川管内の先生方、心と体の健康を保ち、最後まで先生という素敵な職業をやり続けてください。最後に、話は七十パーセントで聞く、決して百パーセントで受け止めてはいけません。

↓ 【保護者対応ロールプレイング】



【演習1】エコロジカルマップ作り→

今、研究室
では…

研究主題 上川教育研修センター 第15次研究 学力の確実な育成を図る指導と評価の在り方 ～目標達成に向けた授業構築～

今回のセンターだよりでは、「第15次研究のねらい」と「1単位時間の目標の設定と達成」について、ご紹介いたします。

第15次研究のねらい

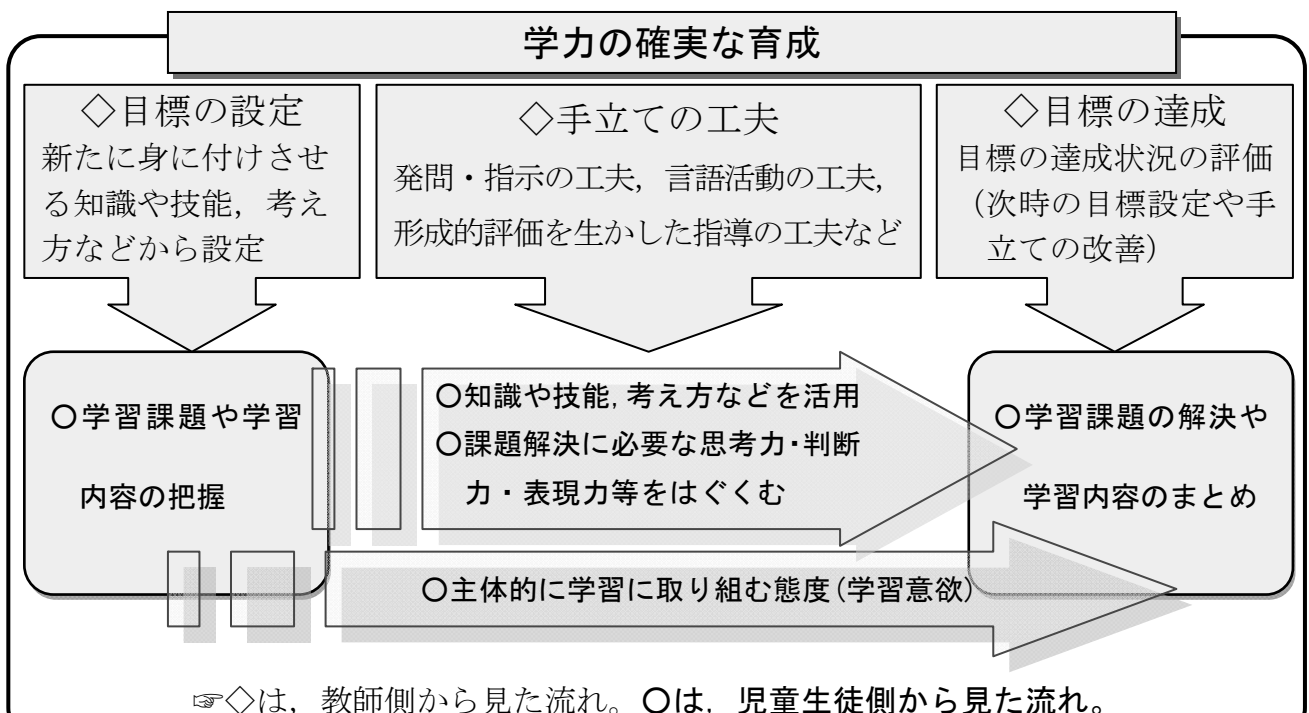
本研究は、児童生徒一人一人が基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、思考力・判断力・表現力等をはぐくみながら、主体的に課題を解決することを目指している。これら学力の3要素を、児童生徒一人一人が確実に身に付けるためには、1単位時間の目標を具体的に設定し、指導計画に位置付けるとともに、目標達成のための授業展開を工夫することが重要である。また、児童生徒一人一人の目標達成状況を計画的に評価することが必要である。

そこで、本研究では、「指導計画の工夫」「授業展開の工夫」「学習評価の工夫」を研究内容とし、目標・指導・評価の一体化を図りながら、1単位時間の目標達成を目指した授業の在り方を研究の骨子とした。

1 単位時間の目標の設定と達成

目標は、1単位時間の授業において、児童生徒一人一人に身に付けさせなければならない新たな知識や技能、考え方などから具体的に設定されている。これらは、学力の3要素と深く関連している。したがって、目標が達成されたということは、児童生徒一人一人が様々な知識や技能、考え方などを活用し、学習課題を解決したり、学習内容を的確にまとめたりすることである。

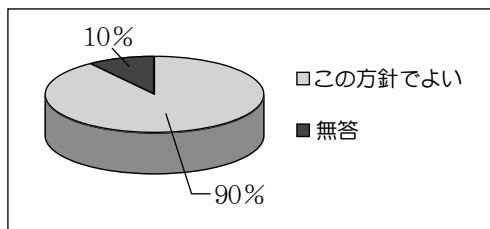
なお、知識や技能、考え方などを1単位時間ごとに確実に身に付けさせていくことの積み重ねは、単元の目標達成につながると考える。



第14次研修事業計画策定に向けて

～アンケートへのご協力ありがとうございました～

I 基本方針の策定について



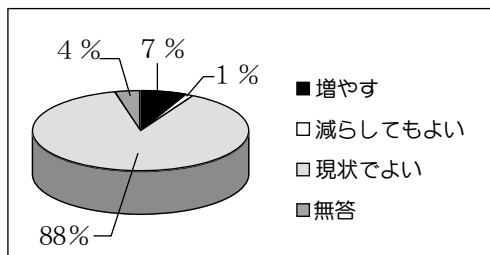
- ・90%の方から、「この方針でよい」とする回答をいただきました。

< 第14次研修事業計画の基本方針 >

- ① 教科指導等の講座については、「小中合同、講義（夏季休業中）と研究授業（2学期）の分離開催」とした、現在の講座形式を継続しつつ、内容の一層の充実を図る。
- ② 教育経営、実技研修、文化の各講座については、今日的な教育課題に対応する内容を目指し、更なる改善・充実を図る。
- ③ 学校（地域）や教育研究団体等のニーズに応える「出前講座」の充実を図る。

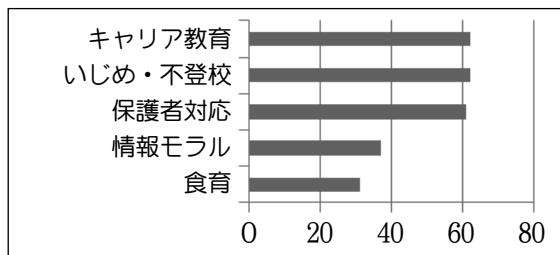
II 開設講座について

(1) 講座の開設数について



- ・88%の方から、「現状でよい」とする回答をいただきました。

(2) 重点的に研修したい内容について（複数回答）



- ・上位5つは①キャリア教育②いじめ・不登校③保護者対応④情報モラル⑤食育の順です。

III パソコン講座について

(1) 講座の実施数

- ・73%の方から「現状でよい」とするご回答をいただきました。

(2) 役目を終えたと思われる講座

- ・表計算入門、プレゼンテーション 等
※実際には沢山の方が受講され「参考になった」との高い評価を得ています。

(3) 新設を求める講座

- ・電子黒板活用、情報モラルマクロ 等



IV 講座全般にかかわるご要望など

< 実施時期について >

- ・長期休業中の開催を増やす。

< 実施内容について >

- ・具体的ニーズ、実践に即した実技研修
- ・スタートカリキュラム、幼小連携を図る。
- ・出前講座の一層の充実
- ・IT活用

< 実施形態について >

- ・半日の講座開催
- ・夏季休業中の2日連続開催 等

○合計で141通のご回答をいただきました。1学期末のご多用のなか、ご協力いただき心からお礼申し上げます。

○お寄せいただいた貴重なご意見を参考にさせていただき、第14次の基本構想と講座計画の詳細を作成します。

○今後とも、当センターに対するご意見・ご要望をお寄せください。

心に残る授業

その64



北海道教育庁
上川教育局
義務教育指導班
指導主事
瀬越 義範

新学習指導要領においては、言語活動の充実を図った指導が求められていますが、それを見事に実践した小学校第六学年のボール運動「ソフトバレーボール」の授業を参観したことが心に残っています。

ソフトバレーボールは、連係プレーを工夫するなど、チームや相手の動きを考えながら組織的に行うネット型のボール運動の題材です。

この特性を生かし、授業では『作戦を生かしたゲームをしよう』という課題を提示し、子どもたちにチームが一体となつて取り組むことを意識させるとともに、「作戦タイム・練習①」↓「ゲーム①」↓「作戦タイム・練習②」↓「ゲーム②」↓「振り返り」という構成で学習が展開されていました。あるチームは、ゲーム①に入る前の作戦タイムで、前時の反省から「セッターがトスを上げやすいレシーブをしよう」という作戦を決め、難しいボー

ルをみんなで声をかけながら上げる練習をしていました。次の作戦タイムでは、ポジションを変え、「声を出すタイミングを相手のコートにあるうちにしよう」と決めるなど、プレーを具体的に改善する姿が見られました。

また、教師がグループの作戦を細かく把握し、ゲームの適切な場面で「セッターの方向を向いてパスをしよう」、「作戦だここに移動するよね」など、技能を高める助言を絶妙のタイミングで言葉によつて伝えたことも、効果的でありました。

レシーブというプレーを観点に、ポジションの変更やより良いフォームについて仲間と話し合つて工夫し、子どもがソフトバレーボールの楽しさに触れていることがよく伝わってくる学習活動となりました。

この指導においては、単元を貫く活動を工夫し、課題意識をもたせ、振り返りや作戦とゲームを意識的につなぎ、話し合ったことを意識してプレーをしてほしいという教師の願いが具体化されていました。

思考力、判断力、表現力等をはぐくむために、運動を通して子どもが考え、より良い動きにしていくなめの言語活動の在り方とその重要性を確認できた、すばらしい授業でした。

冬季休業中に行われる研修講座

研修講座の大半は10月中に終了しましたが、冬季休業中に開設している講座もあります。また、2月には当センターの研究の成果を発表する研究発表会もあります。校内の研究や教科指導に役立てられるよう工夫・改善を行っております。ご参加をお待ちしています。

ミニ道研のご案内

北海道立教育研究所と全道14管内の教育研究所・研修センター等が連携して研修講座を実施しています。講師は道研の所員があたり、冬季休業中の2日間を使って講座を実施します。上川管内では、研修センターが会場となります。

お申込みは開催要項から、もしくは、センターに直接ご連絡ください。

TEL 0166-24-2501 FAX 0166-24-2512

開催期日	研修講座名 (会場は全て研修センター)
1月11日(水) 午前	ミニ道研【情報教育】各教科や領域で指導する情報モラル
1月11日(水) 午後	ミニ道研【生徒指導・教育相談】生徒指導上の課題への対応
1月12日(木) 午前	ミニ道研【教育課程経営】ミドルリーダーの役割
1月12日(木) 午後	ミニ道研【生徒指導・教育相談】児童生徒との関わりにいかす解決志向アプローチ
1月12日(木) 午前	文化講座「書に親しもう」
2月7日(火) 午後	センター研究発表会

書道作品展を開催して

この作品は、北海道立函館美術館において、私も書道会が主催した書展「金子鶴亭と現代書の新風」に出品したものです。ギャラリイ関での開催中は、旭川・上川の方々はじめ、たくさんの方々にご来場いただきありがとうございます。また、作品展の場を提供していただいたことに厚くお礼申しあげます。今後魅力ある書をめざし、精進して参る所存です。この度は本当にありがとうございました。(書創社 伊藤紫園)



現代書の新風より 6名の作品展

1階第2研修室の壁面を作品展示用に開放しています。実践発表の場としてお役立てください。

9月6～24日まで書道展を開催しました。

ギャラリイ関(セン)をご利用ください

発行日	平成二十三年十一月一日
発行	上川教育研修センター
責任者	〒077-0100 旭川市六条通四丁目 電話(0166)24-2501
印刷所	相澤 政義 東信印刷株式会社

※この用紙は再生紙(古紙70%)を使用しています。